

私たちの「仲間たち」

287

敏捷で勇敢！

鳥見にのめり込むと、シギ・チドリが猛禽類のいずれかに関心が分かれるようになる、といつかどこかで聞いた。私は長いことオオタカ保護にかかわってきたので猛禽派に入るのかもしれない。その中でわが国産でもっとも小さいタカが「ツミ」だ。オオタカはカラスぐらいで体長が50数センチ。ツミは27〜30センチといわれるからかなり小柄である。小鳥や昆虫、ネズミなどを捕える。平地の山林から亜高山に棲むとされていたが、近年は人里や都市部でも繁殖するようになった。私は坂戸市の神社、川越市・喜多院の境内で子育てしているの



▲鳩山の動植物 ツミ (タカ科)

を見ています。東松山市では団地の植え込みで巣をつくっていた。多分、そのほうが餌にありつきやすいからだという研究者もいる。

オスの胸部は黄赤色でこれが特徴になっている(写真はオス)。メスはひと回り大きいハイタカやオオタカと同じく白地に黒い横斑がある。しかし、体は小さいが肝つ玉は並ではない。倍近く大きいオオタカやカラス、トビなどに単独で攻撃を仕掛ける。しかもかなりしつこい。辟易して逃げ惑う敵をどこまでも追いかける。物見山の駐車場で2度ほど観察した。それほどしつこいにはそれなりの理由がある。おそらく近くで「子育て」している可能性があるのだ。そして3年前、鳥見仲間の一人から、石坂の森でツミの巣立ち雛の写真を撮ったのを見せてもらった。昨年も確認されている。私は今年の春、地球観測センターから熊石線の道に出たところの電線に止まっている成鳥を見ることができた。石坂の森のどこかで営巣していることは間違いない。この森には、オオタカ、ハイタカ、フクロウなどの猛禽類がいる。それに加えてツミが仲間入りした。そうっと大事に見守りたい。

(写真・小倉憲貴／文・鈴木伸)

人口と世帯

11月1日現在、()は対前月比	
人口	14,744人 (+5)
男	7,286人 (+8)
女	7,458人 (-3)
世帯	5,819世帯 (+7)
10月の出生数	9人

12月の納税・納付

固定資産税	(第3期)
国民健康保険税(普通徴収)	(第6期)
介護保険料(普通徴収)	(第6期)
水道料金	(10・11月分)
●特別徴収(介護保険料、国民健康保険税・後期高齢者医療保険料)	
●納期限を過ぎないように、コンビニ納付や口座振替をご利用ください。	

編集日記

▼今月号でお伝えしたとおり、本号で「広報はとやま」は創刊500号を迎えました。その節目に、もっと大型の特集記事を書き組むことができれば良かったのですが、力不足・準備不足の自分を嘆くばかりです…。

「広報はとやま」を第1号から見ていきますと、広報担当1年目としては、とても刺激の強いものばかりでした。歴代広報マンのすばらしさに脱帽するばかりでなく、「温故知新」という言葉にあるとおり、過去を見つめ直し、新たな発見がたくさんありました。

より良い広報紙、皆さまと作る広報紙を目指して、さまざまな記事やコーナーを作り上げてきたすべての方々に敬意を表し、今月号は過去に使用されたロゴマークを入れること、そしてなるべくたくさんの方々に登壇いただくことを意識しました。取材にご協力いただきました皆さま、ありがとうございます。今後とも、広報広聴活動にご協力をお願いします。Ⓚ